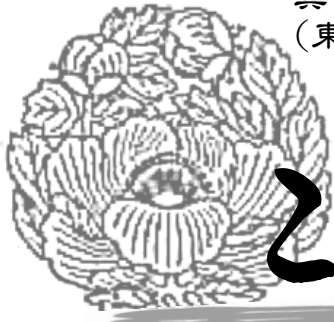


〒511-0073
 三重県桑名市北寺町47番地
 TEL (0594)-22-0652
 FAX (0594)-22-0681
 メール kwanabetsuin@gmail.com
 全日 開門 6:00 / 閉門 17:00
 (寺務所 平日 9:00~17:00)

真宗大谷派
 (東本願寺)

桑名別院 本統寺



ご坊さんだより

2022年

5月

別院花まつりを開催

さる4月8日、別院の山門にて、「花まつり」を開催し、多くの人で賑わいました。

別院門前の寺町通商店街では「3」もしくは「8」が下一桁につく日に、「三八市」を開催しています。その開催日とも重なる8日は、300人を超える人たちがお釈迦様の誕生日を祝いました。三八市に買い物に訪れた方は、いつもと雰囲気の違いが別院山門の様子に「今日は何かあるのですか」と尋ねられ、興味を示してくださいました。



◎「花まつり」とは・・・

お釈迦様の誕生日をお祝いして行う仏事です。今から2500年ほど昔、ルンペーの花園にお釈迦様はお生まれになりました。その時、お釈迦様の誕生を喜ぶようにして天地は激しく揺れ、空からは甘露の雨が降り注いだと伝えられています。♪日、「花まつり」、色と匂いの花で飾った「花御堂」の中に誕生仏(お釈迦様の誕生のお姿)を安置し、その誕生仏に甘茶をおかけしてお祝いするのは、この誕生のお伝えにならなくてはなりません。

みんながただ独り、尊い命を生きている

「天上天下唯我独尊」

てんじょうてんげゆいがどくそん
 一天にも地にもただ独り、一人ひとり、他の誰にもかえられない尊い存在である。一生まれてすぐに立ちあがり、7歩歩き、右手で天をさし、左手で地をさして、お釈迦様が宣言なされたお言葉です。お釈迦様は数々の教えを私たちにお説きくださいました。今では当たり前を感じる教えもお釈迦様なしでは当たり前ではなかったでしょう。そして再び今、その当たり前によって、真実から遠ざかる一方の私たちの姿があります。今一度お釈迦様の尊い教えに出会い直していくことが求められています。



お釈迦様は数々の教えを私たちにお説きくださいました。今では当たり前を感じる教えもお釈迦様なしでは当たり前ではなかったでしょう。そして再び今、その当たり前によって、真実から遠ざかる一方の私たちの姿があります。今一度お釈迦様の尊い教えに出会い直していくことが求められています。



別院婦人会 甘茶を振る舞う



誕生仏におかけする甘茶を皆さんに味わっていただきたく、別院婦人会の皆さんによって甘茶のお振る舞いもいたしました。はじめて口にしたらという方も多く、甘茶が砂糖ではなく茶葉の甘みであることに驚く声や、紅茶のようで美味しいと楽しむ声が多数聞こえてきました。



さる4月4日、「花まつり子ども大会」が行われました。前日の準備の時点では天気予報は雨となっておりましたが、当日は見事な快晴となり、暖かい春の陽気となりました。

みんな仲良くいたします
私たちはごいじやない

9時30分より別院庫裡にて受付が始まり、スタッフよりパンフレットが配られると、子どもたちはすべに自分の名前を書き、首からさげて楽しんでいます。そしていよいよ開会式。安田雅輪番の挨拶、勤行、その後、星川大地氏（三重組大圓寺衆徒）よりご法話をいただきました。そこで、ひとりひとりが時には孤独を感じながらも尊い今をみんなで生きていることを確かめてくださいました。その言葉を感しながら、『合唱団ひかり』と共に「翼をください」、「手のひらを太陽に」の2曲を合唱し、ひとつになったみんなの暖かい歌声は本堂を包みこみました。花まつり実行委員長の長崎直氏（長島組善

明寺住職）は次のように熱く語ります。

「スタッフも子どもも同じ参加者として『花まつり』という仕事を楽しく取り組めたら。」

2年ぶりに花まつりに参加した子どもたち、やり遂げたスタッフ、皆の表情は生き生き輝いていました。



2年ぶりの花まつり子ども大会!!



誓いのことば（三帰依文）をみんなで唱和しました♪

わたくしたちは、ほとけのこどもになります。
わたくしたちは、ただしいおしえをききます。
わたくしたちは、みんなながよくいたします。